

令和4年度 英語研修5（スピーキング）報告書

【開催日時】 令和4年9月26日（月）・27日（火）

① 16日 13:00～14:30

② 16日 15:00～16:30

③ 17日 13:00～14:30

④ 17日 15:00～16:30

（各回のプログラムは同じ）

【開催場所】 WEB（Zoom）

【講師】 梅村綾子（名古屋大学博物館 特任助教）

【参加対象者】 大学の技術職員、技術支援員（パート、派遣等含む）

【定員】 各回3名

【目的】 大学や研究機関でのグローバル化に伴い、技術職員が留学生や海外研究者の対応を行なう機会が増している。本研修では、留学生との英語コミュニケーションの練習を中心に行う。

【プログラム】

短時間の英語スピーキング研修。1時間半という短い時間の中で、実際の業務で英語を使用する場面を想定した実践的・体験的なプログラムを実施。

- ・自己紹介&ミニ講座（30分）疑問文をつくろう
- ・ロールプレイ（45分）
- ・まとめ（15分）

【事前提出物】

研修の1週間前までに、ロールプレイに使用する資料の提出（写真、関連するKeywordリストなど）

【参加者】 のべ12名

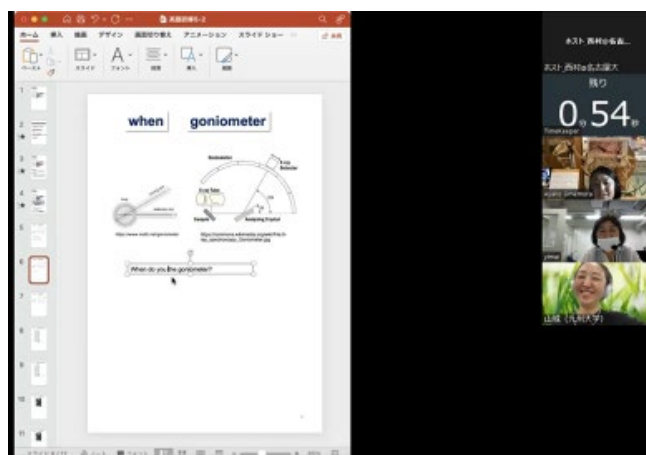
【報告】

今年度の英語研修1と同じプログラムでオンラインスピーキング研修を行った。1.5時間の研修時間で少しオーバーする回もあったが、定員的にも時間的にもちょうどよい研修となった。今回のロールプレイングは担当装置や業務の説明で、留学生目線を体験できることもあり、相手の立場に立ってより伝わる英語を意識する機会を提供することができた。

参加者の多くはリピーターで、研修の継続的な受講が業務に役に立っていると考えられる。9月はじめの機器分析技術研究会でのポスター発表を聞いて参加してくれた参加者もあり、留学生対応が多い技術職員の本研修への要望は非常に大きい。今後も継続しての開催が望まれる。

【当日の様子】

ミニ講座

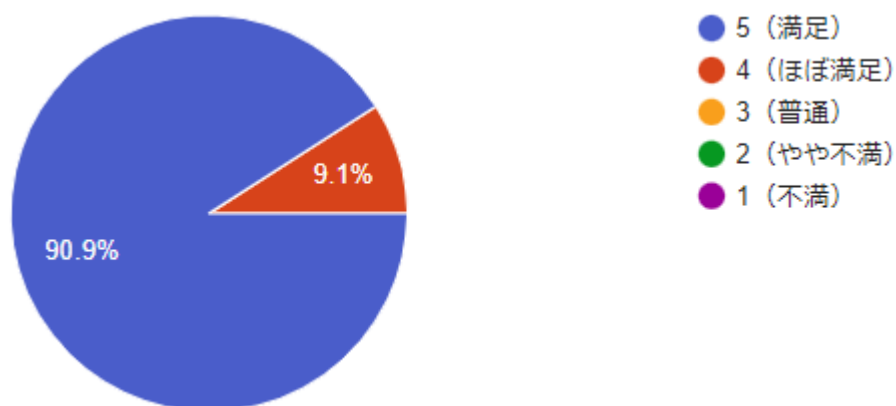


ロールプレイング



【アンケート結果】回答数 11

研修の満足度



研修の良かった点

- ・少人数で実践的な練習ができたこと
- ・内容のセット仕方が上手いです。口開ける環境になったので、抵抗が少ないです。
- ・新しい言い回し、説明が滞ったときの自分なりの対処の仕方を学べたこと。
- ・研修参加者の皆様が積極的に発言していて、とても良い刺激になりました。毎回言っているような気がしますが、短時間かつ少人数の研修だとたくさん発言できてありがたいです。
- ・終始喋りやすい雰囲気で参加しやすい。ロールプレイングでは、実際のシチュエーションに近いやりとりができるので、とても参考になった。
- ・日本語が禁止だった点が良かったと思います。ミニ講座の質問を作る練習では、自分の足りない点に気づくことができました。
- ・要点をまとめる練習ができた。他の人のまとめ方が非常に参考になった。
- ・用意していた説明が留学生役の方に伝わりホッとしたことと、先生からのフィードバックでさらに課題が見えたことでやる気を与えてもらえました。一緒に参加した方から学ぶことがあり、良い刺激になりました。
- ・雰囲気がいいのがとても良いと思います。英語で発表して、聞いて終わりではなく、質疑応答して1分でまとめたりコメントしたりしないといけないので、サボることができません笑。自信はないし難しいし大変ですが、なんとなく聞き取れると、なんとなく聞いて分かったような感じになって終わることが多いので、これはむしろありがたいことと思っています。
- ・実際に使う装置の説明だったところ
- ・たくさんありますが、大きなことをひとつだけあげれば、他の人の英語での説明の仕方を聞くことで、自分の説明の仕方がある程度客観視できたことです。

今回の研修はご自身の業務にどのように役立ちそうですか？

- ・英語圏の施設見学者に対する対応
- ・実際に担当する予定の業務内容を使ったので、練習になりました。伝わるかとかを確かめました。これから練習しながら改善して行きます。
- ・装置等を紹介する際に、装置について未知のひとの立場になって説明できそうです。
- ・今回の研修は予約システムの使い方を留学生へ説明するという、自分の業務に直結する内容でしたので、今すぐに役立ちそうです。また、梅村先生がおっしゃっていたように、自分の説明を留学生が理解したかどうか確認するために、留学生に summarise してもらうというのはとても良いアイデアだと思いました。留学生に装置の使い方を教えたときなどにやってみたいと思います。
- ・留学生への説明について、どのようにしたら自分がちゃんと伝えられるかを見つめ直す機会となった。これを生かして、より彼らに寄り添ったフォローができるようにしたい。とても役に立つと思います。
- ・話し方、確認の方法など多くのことを学ぶことができたので、より分かりやすく伝えようという意識づけになりました。留学生への対応力向上に役立ちます。
- ・普段から留学生対応をしていますが、相手に理解してもらっているかを確認しながら説明を進めることを心掛けたいと思います。
- ・現場で実際に英語で説明するかもしれない場面を想定して練習ができたことで、課題や工夫が必要そうなところがわかりました。
- ・留学生に装置の説明をする時の練習になりました
- ・外国人の同僚や学生さんと装置の使用についてやり取りすることが実際にありますので、その際に自分の話し方を客観視できるようになったことが役立つと思います。

今回の研修の感想・改善点や、今後の技術英語研修に期待することなど

- ・途中参加になってしまいご迷惑をお掛けしてすみませんでした。うまく説明ができなくてもどかしくなってしまう場面もありましたが、他の参加者の方がフォローして下さってありがたかったです。また機会がありましたら参加したいと思いますのでよろしくお願い致します。
- ・3回の研修を参加して、全部良かったです。英語で楽しく喋ることを期待しております。
- ・予習ができるように、もう少し資料を具体的にしたほうがいいのかと思いました。
(ロールプレイが目的の研修では)
- ・今年度の研修はこれで最後ですが、来年度も継続して開催されることを強く期待しています。よろしくをお願いします。
- ・実践的な研修がとてもためになります。来年度も是非続けて頂けたらと思います。
- ・スピーキングはとても敷居が高く取り組み方が難しい為、なかなか第一歩を踏み出せずにいました。今回の研修を受けて、自分の足りない点が少し見えてきた気がします。

この、足りない点を少しずつになりますが、埋めていけるように挑戦していきたいと思います。なかなか埋めることができないかもしれませんが、今後ともよろしくお願いいたします。

- ・他の人の英語を聞くのが大変勉強になります。ちょうどいい人数だと思います。

- ・以前、オンラインになる前には、旅費を出してもらえとはいえ恥ずかしい気持ちがあって現地参加はハードルが高いと考えていましたが、オンラインで気軽に参加できその恥ずかしさも薄れた気がします。現地参加も視野に頑張りたいです。

- ・専門用語集について、ロールプレイのお一人目のときに一番上の単語集を見ながら聞いてしまって(発表順に並んでいると勝手に思い込んでしまって)、出遅れたというか混乱してしまったので、どの単語集を見たらよいか、先に確認できるとよいかと思いました。

- ・事前の準備が結構大変でしたので、案内を早くして欲しいです。また、もう少し他の人にわかりやすいような内容にするべきだったと思いましたのでその辺の事も事前に教えて欲しいかったです。

- ・今後も、ミニレクチャー→ワーク→振り返り、という構成が効果的で良いと思います。

以前一度あったと思いますが、後日の、30分程度での振り返りなども有効かもしれません。昼休みなどを利用してよいと思います。